2025年度
早稲田大学 創造理工学部
早稲田建築 AO 入試
外国学生入試
第二次選考 筆記試験問題

《注意事項》

1. 試験時間は午前 10 時～午前 12 時です。
2. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の合図があるまで開かないでください。
3. 解答用紙には、所定欄に受験番号および氏名を記入してください。ただし、所定欄以外に氏名、受験番号やその他個人を特定できる内容を記入しないでください。
4. 解答用紙は縦向きで使用し、解答はすべて解答用紙の表側のみに描いてください。解答用紙の裏面の使用は認めません。
5. 解答には黒鉛筆を使用してください。濃さは自由です。シャープペンシルの使用は認めません。
6. 解答用紙のほかに、下書き用紙が配布されます。ただし、下書き用紙を解答用紙として提出することは認めません。
7. 問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。
8. 解答用紙は必ず提出してください。
9. 問題冊子は表紙を除いて 1 枚 です。
10. 解答用紙は 1 枚 です。

2025年度 創造理工学部
早稲田建築 AO 入試
外国学生入試
第二次選考
建築学科
(筆記試験問題)

問1 半透明の直方体、スポンジ素材の立方体、金属製の正四面体、木製の球体、4つの立体を創造的に配置した空間をイメージし、これをデッサンで表現せよ。立体配置のルールは以下の8点とする。

- 1) 立体のサイズは自由に設定してよい。
- 2) 立体を重ねて配置することはできるが、貫通して配置することはできない。立体には強度があり、変形や圧壊はしない。接着剤などの補助素材の使用はできない。
- 3) 立体には質量があり、重力の影響があるものとする。
- 4) すべての立体は静止状態にあるものとする。
- 5) 空中に浮いた状態の配置はできない。
- 6) 描写は光源を想定し、陰影をつけて表現する。床面への投影も描写する。
- 7) 4つの立体すべてを解答用紙の中に描写し、立体の位置関係がわかるよう視点位置を工夫する。
- 8) 素材の特徴もデッサンで表現する。

問2 上記の立体を静止状態に配置するために、あなたが工夫した点を3つあげ、解答用紙のマス目の中に320文字以内で記述せよ。